

このたびの新潟県中越地震により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

市町村の体験活動支援センター  
新自治体のプランづくりに向けて  
市町村合併に伴う生涯学習の推進  
11月の推進センター事業

中之口子ども体験活動支援センター  
県教育庁生涯学習推進課  
阿賀野市教育委員会

## 市町村の体験活動支援センター

地域・子ども会・学校の応援団としての「中之口子ども体験活動支援センター」をめざして

16年6月に中之口村公民館内に「中之口子ども体験活動支援センター」を設置しました。専任のコーディネーターを配置し、センター運営にあたっています。コーディネーターが、体験活動奉仕活動に関する情報提供や相談、指導者の紹介などを行っています。コーディネーターのアイディアでセンターがより住民にとって身近な施設になるように、近く愛称とマスコットを子ども達から募集することになっています。



生涯学習のマスコット  
「マナビ」

今年度は、村内の各地区子ども会、学校や村民すべての人にセンターの存在と果たす役割を知っていただくことを第一と考えています。そのために、情報チラシの作成や学校PTA役員会での説明などPRを重視した活動を展開しているところです。同時に様々な体験活動等を主催し提供しています。

6月13日には、小吉水辺の会の事業に協力し、中ノ口川堤防の芝張りとは花植えのボランティアに親子で参加する事業を実施し、自分たちのまちづくりの一端として小さいながら寄与しました。



中ノ口川堤防の芝張り

子どもたちの夏休み期間中(8月12日)には、学社連携推進事業として「子どもフェスティバル・遊び12学び」を開催しました。村内の学校教職員、社会教育委員、サークル団体等、中学生ボランティア、理科センター職員等の力を結集し、文化・科学やスポーツなど12分野の体験活動を実施しました。

今後一層、学校や子ども会からの問い合わせに応じて講師を派遣したり情報を提供したりすることに力を注いでいきたいと考えています。

子ども会、学校、そして村民から信頼され、「センターに行けば何か情報があるかもしれない。楽しいことがあるかもしれない。だから行ってみようよ。」と早く言われるような、地域の応援団として機能していけるように努めていきたいと思ひます。

## 新自治体のプランづくりに向けて

## 県教育庁生涯学習推進課

現在、県内各地で市町村合併が進められていますが、生涯学習分野では、生涯学習関連施設の新設・統合、事業の再編成や地域間調整等の新たな取組が求められています。これらの合併に伴う当面する課題解決のためにも、新自治体の生涯学習を総合的・計画的に推進する指針となる「生涯学習基本計画」の速やかな策定が必要です。

その際、地域の伝統行事や特色ある活動など、これ

まで大切にしてきた地域のアイデンティティを尊重し、「生涯学習まちづくり」や「住民参画」の視点に立った基本計画づくりが期待されます。

そのため、生涯学習推進本部や住民の意見を反映する委員会組織等の設置、住民の学習ニーズを把握する意識調査など、計画策定に向けての準備や予算化が重要となります。

# シリーズ「市町村や学校の取組」

## 阿賀野市における市町村合併に伴う生涯学習の推進について

阿賀野市教育委員会 生涯学習課 課長補佐 見原 健司

今年4月1日、北蒲原郡南部郷4カ町村（安田町・京ヶ瀬村・水原町・笹神村）が合併しました。

社会教育行政が人的・財政的な恩恵とスケールメリットを甘受できるようにするためには、目の前にある小さな課題から解決していかねばなりません。

合併する前の4カ町村は、歴史的背景も深い関係にあり一部事務組合を設置して広域行政も進めてきました。また、行政の他にPTAなど社会教育団体の間でも深い関わりを持ってきました。しかし、合併の調整項目では例規・予算・事業の大まかな方針は示されますが、いざ取りかかろうとする時の第一歩の調整から試行錯誤の連続で、事業の一本化や再構築への道のりは思いのほか難しいと感じています。

制度の関係では、受益者負担の適正化という観点から10割減免で無料としていた社会教育団体の使用料が1割の使用料を徴収することになりました。また、冷房・暖房費は実費徴収となりました。このため、利用団体への説明会等を開催するなど周知と理解をお願いしてきましたが、利用団体からは多くの問い合わせがありました。

社会教育は、ほぼ全国一律となっている戸籍事務や税務事務などと違い、目標や目的が決まっても、それを達成するための手段や方法は千差万別です。それぞれの地域性や風土、さらには社会教育者の資質や事業の進度によってそのやり方が大きく異なっている場合が多いといえます。

まだまだ、合併の作業は終わってはいません。これからも合併の調整が続きます。しかしながら、この作業こそが「地域の人々がそれぞれの生涯各期に応じた新しい生活課題や高度な学習要求に対応した生涯教育・人づくりを要とした生涯学習・社会教育をどのように発展させていくのか」という原点をいつも問い続けさせられる結果となり、冷静に事業を見直す大きなチャンスになっていることは、もう一つの合併効果といえます。

阿賀野市教育委員会 生涯学習課の職員体制

<本庁> 生涯学習課長 課長補佐(公民館長兼任) 社会教育係長 庶務係(副主任) 主任(社会教育)  
主任(社会教育・笹神図書館兼務) 文化行政係長 主任(文化行政) 主事(青少年育成センター)

<各庁舎(笹神・水原・安田・京ヶ瀬)>

公民館副館長(本館) 施設係長(五頭車峰少年自然の家)

公民館副館長(水原公民館) 市立図書館副館長(水原図書館)

公民館副館長(安田公民館) 主事(安田公民館、図書館兼務) 博物館係長(吉田東伍記念博物館、笹神・京ヶ瀬地区郷土資料館)

主任(京ヶ瀬公民館、スポーツ振興課兼任) 主事(京ヶ瀬公民館) 図書館長(市立図書館) 司書(市立図書館)

### 11月の推進センター事業（お知らせ）

- 7日(日) にいがた連携公開講座  
「青田遺跡の発見・発掘とその意義」  
主会場:紫雲寺町中央公民館  
受信会場:県立生涯学習推進センター
- 8日(月) 映画ボランティアの会
- 14日(日) にいがた連携公開講座  
「動いて歩いて脳の老化を防いで健康づくり」  
主会場:県立生涯学習推進センター  
受信会場:頸城村「希望館」 紫雲寺町中央公民館
- 24日(水) 家庭教育サポーターステップアップ研修会
- 28日(日) 映画ビデオ鑑賞会  
「ホーム・スイートホーム-誰にでも帰りたい家がある-」

#### 通信衛星による社会教育主事講習(B)の開催のご案内

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターを主会場として、衛星通信(エル・ネット)を活用した平成16年度社会教育主事講習(B)を県立生涯学習推進センターにおいて開催します。

平成17年1月17日(月)～2月23日(水) 38日間

受講希望者は開催要項の請求を推進センター(025-284-6110)までお願いします。

受講希望者の参加申込締切は11月16日(火)です。

### 新潟県立生涯学習推進センター

新潟県生涯学習情報提供システム

「ラ・ラ・ネット」<http://www.lalanet.gr.jp/>

すこやかコール(家庭教育子育て電話相談)

TEL:025-283-1150

FAX:025-284-6019

学習相談

TEL:025-284-6119

soudan@mai.lalanet.gr.jp

新潟県体験活動等支援センター

TEL:025-284-6145

taiken@mail.lalanet.gr.jp

